HELLMUT SCHUTTE

- **Former Dean of the INSEAD campus in Singapore**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Government
- Leadership
- Motivation
- Politics

HellmutSchütte教授は、マーケティングおよび投資銀行業務の分野で11年間のキャリアを積んだ後、1981年にINSEADの教員になりました。国際的な管理のシニアアフィリエイト教授として、彼はアジアに特別な焦点を当てて国際的なビジネスと国際的なマーケティングの分野で研究し、教えています。彼の現在の仕事は、アジアの市場と消費者、中国の台頭、そして多国籍企業の戦略と組織構造の地域化に関するものです。

Schütte教授はドイツで経済学と経営学を学び、スイスのSt.Gallen大学で博士号を取得しました。 1989/90年には東京大学の客員教授、1992/93年にはボストン大学の客員教授およびハーバード大学の客員研究員を務めました。

2006年まで Schütte教授はシンガポールにあるINSEADの急成長中のアジアキャンパスの学部長でした。キャンパスは、INSEADの新しいグローバル学習ネットワークの一部です。それは大規模な、最先端の施設、40人の常勤の教授からなる教員で構成され、年間300 MBAの参加者と2500人のエグゼクティブを歓迎します。 6歳のキャンパスは、アジア全域で数多くの活動の拠点として機能しています。 2002年に学部長に就任する前は、HellmutSchütteはアジアのエグゼクティブ教育の副学部長を務めていました。

2012年11月16日に、Schütte教授は次期副学長および中国ヨーロッパ国際ビジネススクール CEIBS の学部長に任命されました。

シュッテ教授は9カ国で生活し、仕事をし、世界中の約40カ国でセミナーで教えました。彼は会議やビジネスミーティングでよく知られているスピーカーで、アジアや西側の主要組織のさまざまなエグゼクティブプログラム、役員およびアドバイザリの役割、コンサルティングの任務に積極的に関わっています。
彼は多くの記事と9冊の本の著者です。

最近の会話の約束は次のとおりです。

- SABMiller戦略ワークショップ「中国の現実に向き合う」 - 香港
- EADS /エアバスが挑戦として中国に直面 - 中国の多様な挑戦 - 上海
- RGM インドネシア/ SGP 戦略の調整」 - シンガポール
- Georg Fischer スイス）「中国との取引」 - 三亜、中国
- ベルギー協会「世界経済におけるアジアの役割」 - シンガポール
- CoreNet アメリカ）グローバルアジア大会「今日のアジアへの思い出」 - シンガポール
- カールトン（アメリカ）「アジアでの成功のための戦略」-シンガポール
- エシロール（フランス）「グローバルな文脈の中のアジア」 - バンコク
- JonesLangLassalle アジア：成長の限界か限界の成長か？」 - シンガポール

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988